

本書の目的

本書の目的は、AFT ファッションコーディネート色彩能力検定に、最も簡単にそして、色彩という感性も必要とする分野を楽しみながら実践し、合格していただくために書きました。

最も容易に試験に合格するには、テキストは薄い方が好ましいのですが、確実に試験に合格するためには、一定の情報量が必要です。そこで、本書を作成する際には、載せる情報について何度も何度も吟味しました。

そのため、本書を講義に従って読破すれば、最も容易に、かつ、確実に AFT ファッションコーディネート色彩検定3級試験の合格圏に入ることができるものと確信しています。

色彩学は、多くの分野にまたがった学問です。色彩検定は、「色を覚えるだけ」と考えている人も少なくありません。しかし科学的なことも理解しなくてはなりません。初めから、「考えていた勉強内容と違う」と思いあきらめないで下さい。3級では、全般の基礎的な知識が必要とされますので色彩用語を中心に、理解してください。また、配色では徹底的に、色の組み合わせをトレーニングして目で覚えて下さい。試験ではカラーでの問題が大変多く出題されるからです。

本書を学んでいただき一人でも多くの方が AFT ファッションコーディネート色彩能力検定に、合格していただけるように、そして色彩の楽しさを知っていただけるようにお祈りしております。

本書の特色

1 文章は簡潔に、かつ、分かりやすくしました。

少ない時間で、カラーコーディネーターに必要な色彩学を勉強するには、マンガの本を読むのと同様に、楽に読める必要があります。そのため、本書は、なるべく文書を簡潔に、かつ、分かりやすくしました。

2 具体例を通じて学習できるようにしました。

抽象的な話ばかりに終始しているテキストでは、なかなか理解が進みません。身近な具体例から学習してこそ、理解が進むものです。そこで、本書は、具体的なケースを前提に学習できるようにしました。

3 図表を多く盛り込みました。

色彩検定3級では、いろいろな言葉、考え方を学習します。そのため、いろいろな言葉や考え方の具体例をたくさん掲載しました。これにより、みなさんが色彩検定3級試験に合格し、実際に、実務においても困ることはないようにしました。

4 実際のトレーニングをしながら勉強していきます。

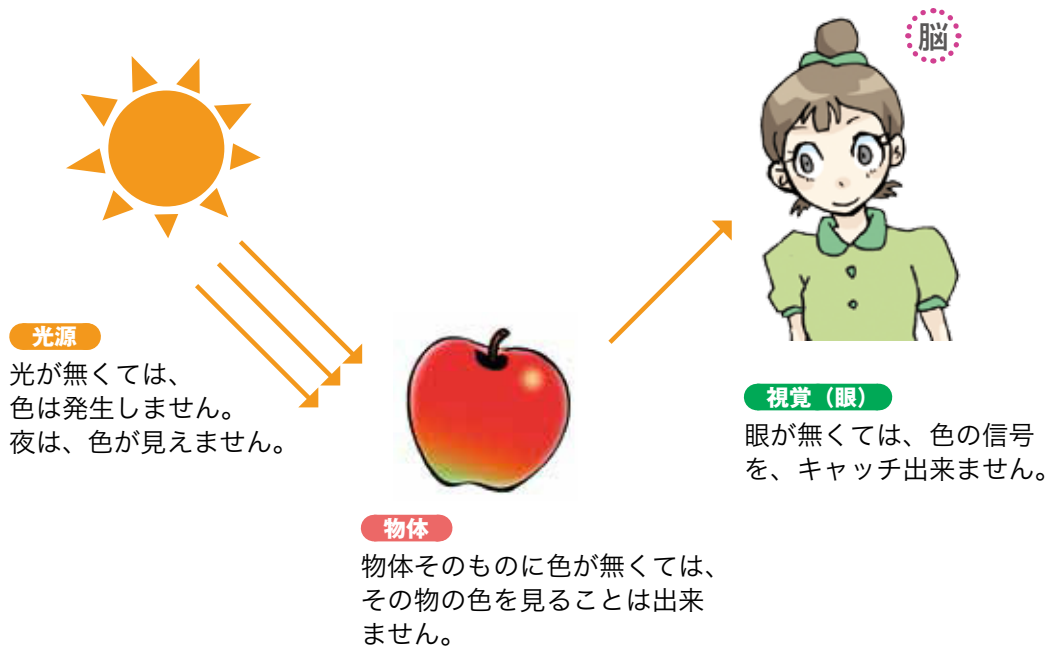
色は、頭だけでは理解できません。実際に目で見て色を理解する必要があります。本書は「PCCS199 カラーカード」を併用し、テキストに貼り付けて、視覚からのトレーニングも出来るように構成してあります。

本書を利用することにより、一人でも多くの方が色彩検定3級試験に合格されることを心より切望します。

STEP II-1

色が見えるまで

■なぜ色が見えるのでしょうか？



なぜ色が見えるか

check

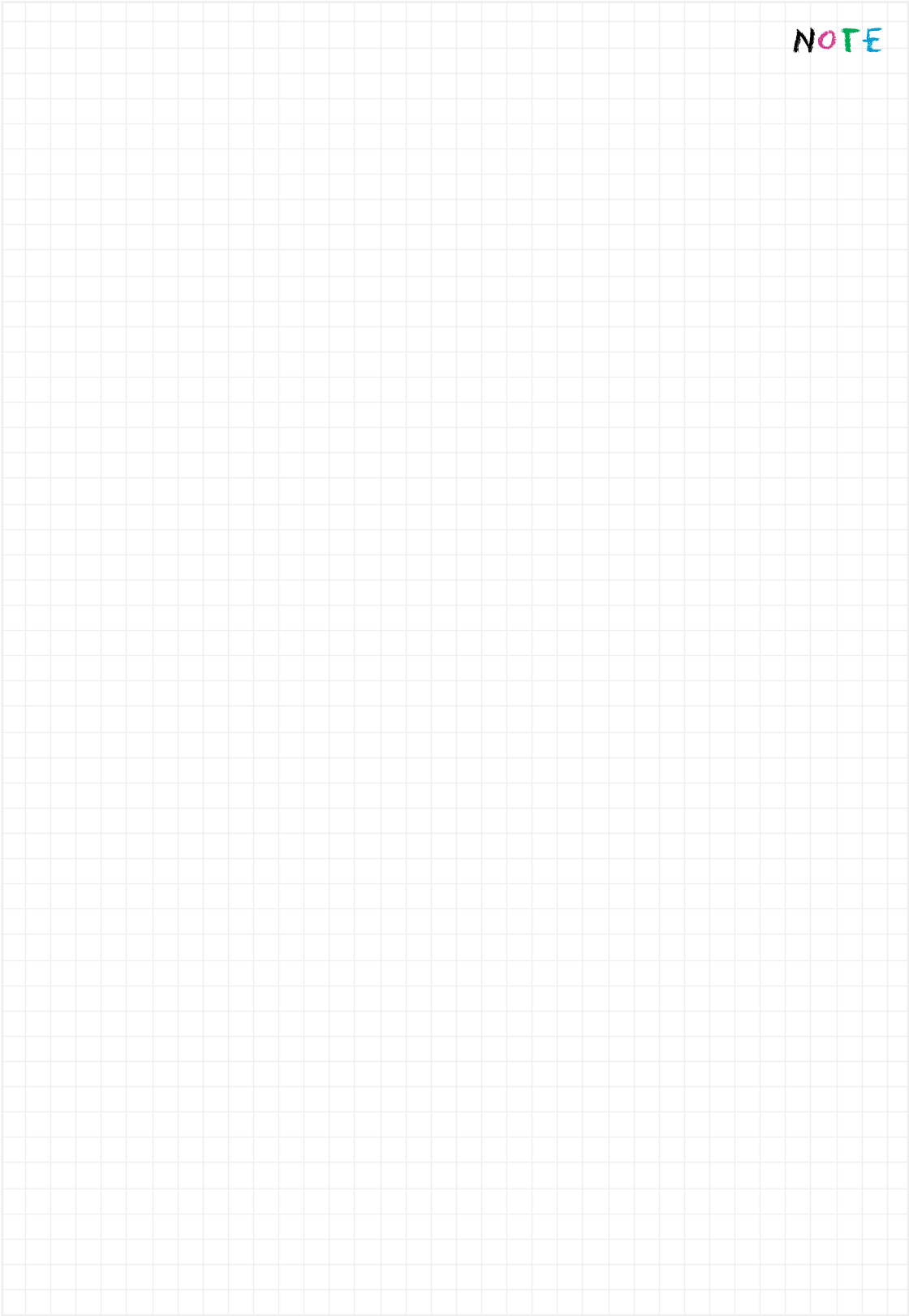
色を見るためには「光源」「物体」「視覚」の3つの要素が必要です。眼で受け取った情報を脳で処理して、はじめて色として認識することができます。

光とは

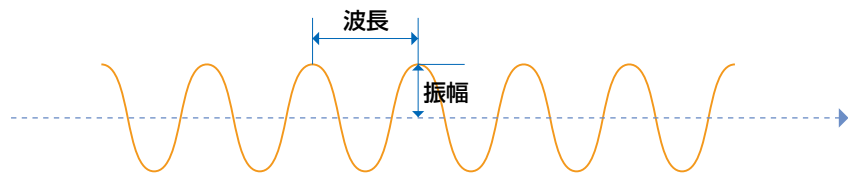
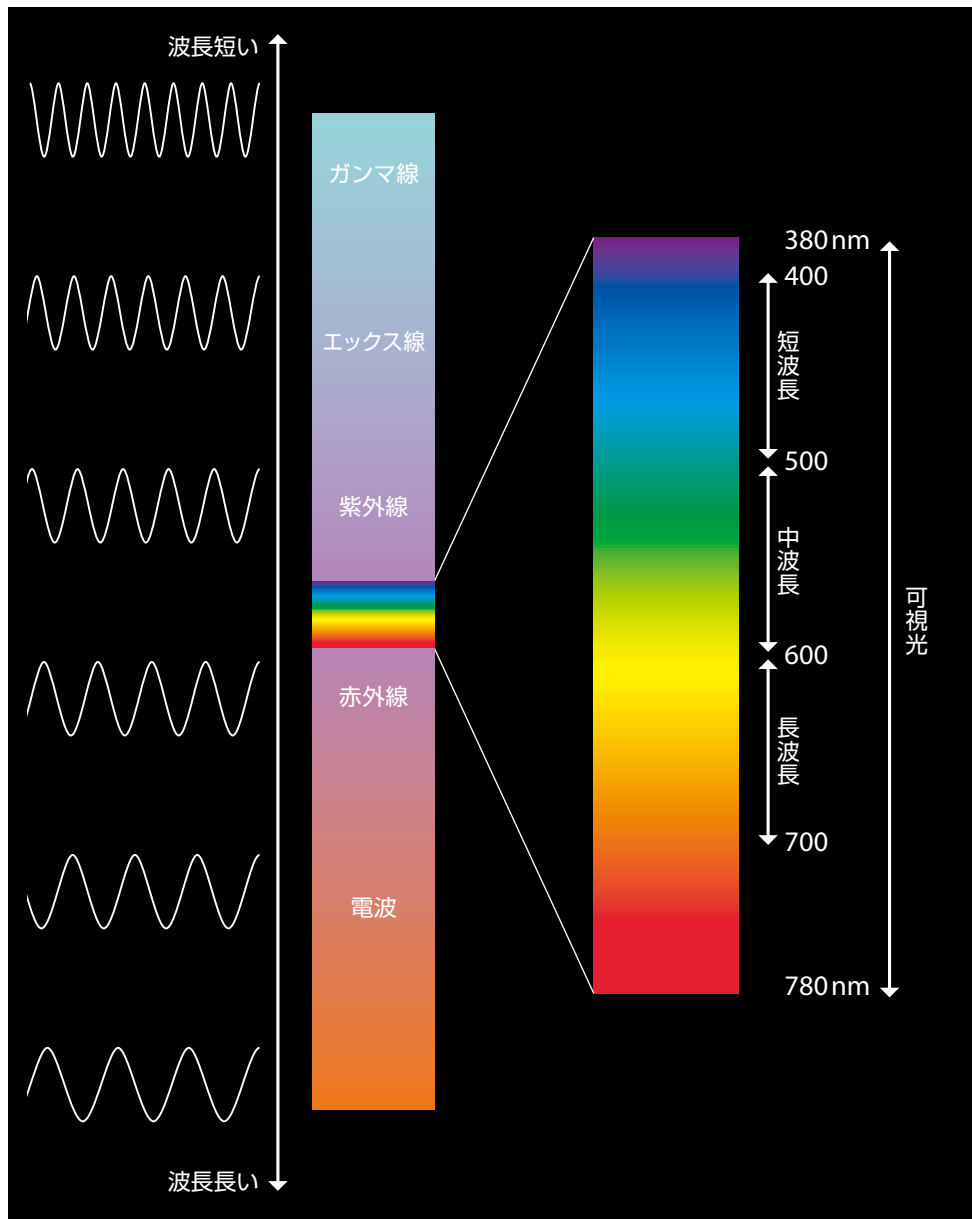
check

電気と磁気のエネルギーが波となって空間を伝わっていく電磁波の一種です。光も波のように振動しながら進んでいきます。

NOTE



■ 電磁波 (模式図)



電磁波は**振幅**と**波長**で表すことができます。

振幅

- 波の山の高さのこと。波の大きさを表します。

波長

- 波の山から山までの長さのこと。波の周期的な変化の程度を表します。
- 単位は **nm (ナノメートル)** で表わされます。
- 1 nm は 10億分の1メートルです。

電磁波は波長の長さによって分けられ、それぞれに利用分野も呼び方も変わります。

- 電波……………テレビやラジオ、携帯電話
- エックス線…レントゲン撮影に使われる
- 紫外線……………日焼けの原因となる
- 赤外線……………熱を感じる

NOTE